

令和5年度事業報告

I 環境保全活動促進協働事業

1 協議会会長表彰

◆個人3 団体6 学校2 企業1 を表彰

個人：小山弘三、藤田正久、森岡和夫

団体：安居地区壮年会、小浜海洋少年団、福井県生活学校連絡協議会

土曜塾、フラワーラブの会、ふくい路面電車とまちづくりの会

学校：小浜市立今富小学校、勝山市立鹿谷小学校

企業：株式会社北陸環境科学研究所

2 ふくいまるごと環境学び舎

○より質が高く、効果の高い環境活動を行うため、環境について学ぶ講演、セミナー等を開催する。

◆環境ふくい未来創造事業助成団体へのアドバイスを実施(随時)

◆セミナーを開催

開催日：11月23日(木・祝) 講師：野吾奈穂子氏(SDGsシンガーソングライター、JICA職員)

テーマ：家庭の省エネ、身近なSDGsに関する内容

3 環境マネジメント推進事業

○主に事業所の環境管理者等を対象に、環境に関する先進的取り組みを行っている企業の見学会を実施する。

◆開催日：11月17日(金) 見学先：SMART ENERGY WEEK関西(インテックス大阪)

内容：太陽光、二次電池、スマートグリッドバイオマス発電等、新技術の進展

4 市町環境連携事業

○市町および市町の推薦する民間団体が企画する事業に対しその一部を助成することにより、県内一円の環境保全活動の活性化を図る。

◆10市町に助成

・福井市：福井市環境フェア

・敦賀市：つるが環境フェア

・小浜市：ドギーバッグ普及

・大野市：自然ふれあい探検隊

・あわら市：ふるさと自然教室

・越前市：アースデイえちぜん

・坂井市：こどもエコひろば

・永平寺町：環境ポスターコンクール

・南越前町：不法投棄防止啓発

・おおい町：間伐材飯盒炊爨

5 こどもエコクラブ活動促進事業

○こどもエコクラブへの登録を呼びかけるとともに、活動しているクラブへの支援を行い活動の活性化を図る。

・助成団体数：2クラブ(福井市鷹巣小学校、坂井市立丸岡南中学校)

・エコクラブ登録数：30クラブ、メンバー数：1,556人(令和6年3月31日現在)

6 SATOYAMA国内ネットワーク推進

○本県の里山里海湖における生物多様性の保全や利活用の活動を国内のネットワークを通じて県外へアピールする。

◆SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク

- ・幹事会 10月2日(月)オンライン開催
- ・総会 3月書面開催
- ・交流会 石川県内の震災の影響により中止

◆ふるさと環境フェアへ出展(11月23日(木・祝))

- ・SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワークの活動紹介

7 専門家による団体サポート事業

○団体の活動内容向上のため、必要とする専門家を協議会が派遣し、一定期間、活動をサポートする。

◆派遣する専門家の分野 マネジメント、ICT、司法書士、行政書士、中小企業診断士等

◆実績：藤島高等学校生物部(外来種判定アプリの開発)

8 親子で環境活動推進事業

○小学生の親子を対象に、『50の自然体験』に関連する自然体験イベントを実施

◆イベント：『星キャン！in奥越』

◆日時：11月11日(土)～12日(日) ※宿泊

◆参加者：9家族29名

◆会場：福井県立奥越高原青少年自然の家、福井県自然保護センター

◆主管：福井県キャンプ協会

9 プラスチックごみ削減推進事業

○近年大きな問題となっているプラスチックごみの削減のため、身近にできる取組み事例を紹介するセミナー等を開催する。

◆映画：「マイクロプラスチック・ストーリー」オンライン上映を実施

上映期間：3月7日(木)～13日(水)

10 福井の環境を守るための資格取得支援事業

○会員が環境保全に関係する資格を取得する際の必要経費を助成する。

◆対象者：企業または団体会員

◆助成金額：試験料または講習料の3分の2

(一つの企業または団体会員あたり上限5万円まで)

◆募集期間：上半期(7月20日(木)～9月29日(金))

下半期(10月2日(月)～令和6年3月8日(金))

◆実績：下半期：自然観察指導員の会、福井きのこ会、いけだのそら 計6名

PROJECT WILDエデュケーター研修

Ⅱ 普及広報事業

1 情報誌発行事業

- ◆「みんなのかんきょう76号」を協議会会員、小・中・高等学校等に配布（令和6年3月）

2 ホームページ等による普及広報

- ◆ホームページやF a c e b o o kを活用し、お知らせやイベント情報を発信（随時）
- ◆F a c e b o o k 投稿回数48回

3 メールマガジンの配信による普及広報

- ◆「イベントお知らせ編」 27回【毎月第2、4金曜日】
- ◆「法令編」 15回【随時】

4 「ふくいっ子に体験してほしい50の自然体験」普及広報

- ◆ 冊子を印刷し、各小学校新1年生全員に配布（令和5年7月）

5 各市町環境フェアにおける普及広報

○県内で開催される市町の環境フェアにブース等を出展し、環境について県民に考えてもらう機会を提供する。

- ・ 5月21日（日） アースデイ越前2023（越前市）
- ・ 6月18日（日） さばえ環境フェア2023（鯖江市）
- ・ 9月16日（土） さかいこどもエコひろば（坂井市）
- ・ 9月30日（土）、
10月1日（日） めがねのまちさばえSDGsフェス2023（鯖江市）
- ・ 10月14日（土） ハートアンドアートフェス（若狭町）
- ・ 11月3日（金） 福井市環境フェア
- ・ 11月4日（土） 大野市Eco遊園地
- ・ 3月2日（土） あわら市環境展

<出展内容>

- ・ 県産木材ぶんぶんごま作り
- ・ 竹紙を使用した折り紙体験
- ・ エコおみくじ
- ・ 足こぎ、手回し発電機
- ・ 環ふ協の活動PR（パネル展示、パンフレット配布）

Ⅲ 県補助事業

1 環境アドバイザー派遣事業

○学校や自治会等が開催する研修会へ講師を派遣 104件（講師124名）

＜派遣分野＞

・自然体験：68件（84名） 環境教室：36件（40名）

2 リペア・リユース推進事業

○壊れたものを修理して使う、いらなくなったものをほしい人に譲るなど、修理する文化、リサイクル文化の定着を目指した取り組みを実施する。

◆修理ボランティアの人材育成

- ・洋服とぬいぐるみの修理を行うための技術を取得する講座の開催（3月23日（土）、24日（日））
- ・おもちゃの修理技術を習得する講座の開催（11月11日（土））

◆古本市の開催

- ・古本市の開催（8月5日（土）、6日（日）、11月23日（木・祝））
- ・無人古本市の設置 ユーアイふくい、嚮陽会館

3 ふるさと環境フェア開催事業

○県民への自然環境問題や地球温暖化防止対策の周知、循環型社会の形成に向けた意識の醸成、生物多様性保全意識の定着のため、イベントを通じた環境学習の場として環境フェアを開催する。

◆テーマ

未来へつなげるふくいの環（わ）

～取り組もうSDGs！目指そうカーボンニュートラル！～

◆ワーキンググループ開催

第1回 4月20日（木） 第2回 5月30日（火）

第3回 7月18日（金） 第4回 9月4日（月）

◆開催日時・会場

令和5年11月23日（木・祝）福井県産業会館にて開催

◆結果

来場者：約4千人

ステージイベント：海洋環境専門家 木村尚 氏講演、ごみ分別教室など

出展ブース：33企業、団体

新たな取組：・公共バスでの来場者へマイボトルプレゼント

・キッチンカーの食器を全て紙で提供し、回収再生（脱プラ）

・一斉ライトダウン呼びかけ



4 家庭の省エネ推進事業

- 地球温暖化防止を県全体で推進するため、手軽に取り組める省エネ活動を県民に強く意識させ、自ら実践するよう普及啓発を実施
- 当事業のテーマを「デコ活ふくい」とし、各種取り組みを実施



◆デコ活ふくい専用WEBページの運用、テレビ番組の放送

- ・専用のWEBページを制作し情報を発信（会員登録者1,127人）
- ・毎週、省エネ等に関連したテレビ番組を放送

◆ウォームシェアの実施

- ・エアコンを消して、公共施設や民間施設・店舗などの暖かい場所に出かけることにより、家庭における消費電力を抑制する「ウォームシェア」の取り組みを実施
- ・QRコードを使用したスタンプラリーを実施
（11月15日～2月29日）



◆うちエコ診断の推進

- ・家庭の年間エネルギー使用量や光熱費などの情報をもとに、家庭のライフスタイルに合わせて省エネ対策を提案する「うちエコ診断」の利用を促す取り組みを実施
- ・イベント等でうちエコ診断の体験コーナーを実施

◆ライトダウンキャンペーンの実施（11月23日）

- ・家庭の節電のため夜間の照明を消すことを促すキャンペーンを実施
- ・ライトダウンを実施した様子の写真投稿を募集・WEBページで公開
- ・敦賀気比神宮や鯖江めがね会館にも消灯に協力いただいた

県内各地のシンボルをライトダウン（呼びかけ・発信）
→鯖江市 めがね会館サイン



◆ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の普及啓発

- ・温室効果ガスの削減に加え、生活を豊かにするZEHの様々な魅力を広く県民に周知するため、テレビ番組を制作
- ・県主催の省エネ住宅関連のイベントに参加し普及啓発を実施（2月10日）
- ・住まいの展示場家の森と連携し、ZEHの体験イベントを実施（2月）

◆スマートムーブの普及啓発

- ・“移動をエコ”にするため、自転車や公共交通機関の利用やエコドライブなどのテーマでテレビ番組やCMを制作

IV 特別会計

環境ふくい未来創造事業

- 環境保全団体の活動を支援
- ◆第1回育成支援部会（7月18日（火））において申請団体によるプレゼンテーションを実施
 - ◆第2回育成支援部会（3月21日（木））において助成団体からの事業報告会を実施
 - ◆令和5年度助成実績
 - ・スタート応援枠（団体を立ち上げてから5年未満の団体等への助成） 0団体
 - ・共働活動応援枠（新たに他団体と共働して活動する団体等への助成） 5団体
 - ◆環境フェアにて活動紹介動画を上映

＜ 共働活動応援枠 ＞

申請団体名 代表者名・所在地	普 段 の 活 動 内 容	助 成 を 受 け て 行 う 活 動 の 概 要	助成 (円)
あわらの自然を愛する会 会長 河田勝治 あわら市	・地元小学校やこども園と連携した自然体験活動 ・民間林間伐と下草刈り、国有林保全 ・イベント実施、果樹や加工品の販売	【「お宝」を守ろう！ ～後世に遺したい、草花・生物～】 ・赤尾湿地内での「自然観察会」「浮島体験会」の実施 ・専門家による合同研修会の実施 ・「チラシ」(参加者教本)の製作	16万
福井小水力利用推進協議会 会長 増田頼保 越前市	・小水力に関する調査研究、普及啓発活動 ・小水力を利用した地域づくり活動の支援 ・小水力利用事業者の連携協調促進 ・小水力に関する政策提言	【越前地域の環境・伝統持続プロジェクト】 ・越前和紙を学習する学校 ・宝探しツアー「浪漫街道(定友地区)」の実施 ・展示会による水の大切さと利活用のPR	30万
さとやま子育てコミュニティ いけだのそら 代表 秋元美奈 池田町	・「子育てコミュニティ」での自然体験の提供 ・「森のようちえん」における自然の中での保育活動	【いけだのそら森あそび基地づくり】 ・未利用材を使った森の秘密基地づくり ・森のジャムづくり、柿もぎと吊るし柿作り ・ツルを用いたリースづくり	30万
アノミアーナ 代表 西野ひかる 小浜市	・海ごみに関する調査活動 ・海ごみ回収のシステムづくりと地域行政への提案 ・海ごみの再資源化、観光資源化、教育旅行プログラム化 ・海ごみ問題に関する啓発活動、団体支援活動	【Button Up to Blue Fukui】 ・「Button Up to Blue Fukui」の実施 「自分たちの手で美しい福井の海を未来につなぐ行動をする」ことを目的とした研修会の名称。主に企業を対象としている。	30万
特定非営利活動法人 森林楽校・森んこ 代表 萩原茂雄 おおい町	・社会教育の推進 ・まちづくりの推進 ・環境保全活動 ・子どもの健全育成を図る活動	【針葉樹の里山林を広葉樹との混合林化する】 ・人工林の間伐と広葉樹の植林 ・植樹体験会、林内見学会の実施	30万